

拝啓 残暑の候、城南学園の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

先日は、御多用の中、令和元年度（2019年度）県立学校「初任者研修」における社会体験研修を快く受け入れて下さり、ありがとうございます。2日間という短い期間ではありましたが、職員の皆様の温かい御指導のおかげで、大変充実した研修となりました。

利用者の方々が一日の流れを把握し、特に指示がなくても行動なさる姿を見て、毎日の生活の仕方や周りの人とのかかわり方をしっかりと理解しておられると感じました。排泄や歯磨き等、日常生活動作をする際支援が必要な方もいらっしゃいましたが、「自分自身の力でできるように」と職員の方々が配慮されており、普段の生徒のかかわり方を見直さなければならぬと感じました。

また、利用者の方々それぞれの興味・関心や能力等に応じて活動や支援方法を考えられていることは、特別支援学校にも通ずるものでした。そして、それぞれの特性と支援方法を職員間でしっかりと共有することの大切さを改めて知りました。今までの様子や配慮事項の中から周知すべきことをピックアップし、「引き継ぎ」として毎朝伝えられている様子を見て、安心・安全に過ごせるための工夫もなされていると感じました。

この度の研修で、貴重な体験をさせていただき、いろいろなことを学ばせていただくことができましたことを、心より感謝申し上げます。この学びを、今後の学校での活動にしっかりと活かしていきたいと思えます。

末筆ながら、城南学園の皆様の今後のますますの御健勝をお祈り申し上げます。

敬具

熊本県立松橋西支援学校

古屋 嬉乃